

日時：平成17年11月14日(月)
授業者：平澤啓介・丸山登紀子(少人数指導)
場所：北小学校第1理科室(南舎3階)

1. 単元名 「もののとけかた」

2. 本時の目標

食塩が下にたまった上ずみ液には食塩が溶けているかに疑問を持ち、味を調べる、ルーペや顕微鏡で観察する、ろ過して粒が残るか調べる、水分を蒸発させて粒が残るか調べるなどの実験を行い、その結果から食塩は目に見えないが上ずみ液のなかにもあると考えることができる。

3. 本時の評価規準<科学的な思考>

上ずみ液に食塩があるのか調べる実験を行い、塩味がある、ルーペや顕微鏡では見えない、ろ過しても粒が残らない、水分を蒸発させると食塩が析出するなどの事実から、食塩は目に見えないが上ずみ液のなかにもあると考えることができる。

4. 児童の実態

学ぶ意欲：食塩が水にとけると粒が見えなくなることから、水にとけた食塩がどうなったか調べたいという意欲を持っている。
学ぶ力：仮説の根拠を明らかにする力はまだ十分に身に付いていないが、自分の仮説を確かめる実験方法を構想する力については、きた。また、事実をもとに仮説について考察する力もついてきた。
学び得た力：水溶液のなかに食塩があることを確かめられそうな方法をいくつか知っている。また、その技能も定着してきた。

5. 本時の展開(4/14)

Table with columns: 学習活動, 研究テーマ具現のための手立て. Includes sections for learning activities (1-11) and research support strategies (e.g., questioning, observation, reflection). Includes a table for experimental results and a table for learning status/guidance.